

# 野菜・花卉・果菜・果樹に

# 醗酵・滋養カルシウム

## カルシウムとミネラル栄養で、 もっと健康に！もっと美味しく！

ホウレン草 など酸性  
土壌を嫌う作物に最高！

チツソ過多  
を抑制

果実の成熟  
促進

土が酸性の  
時

(作物が植わっていても使えます。)

カル

花が弱いと  
き

着果の向上

作物が萎縮  
しているとき

優良菌の  
増殖促進

果実の腐敗  
対策

花芽と樹勢  
の維持

石灰の様に  
土を堅くしない

作物の糖度  
向上

# カルテック

10kg/袋

- ※ トマト、キュウリ、ナス、イチゴ、カボチャ、トウモロコシ、ブロッコリー、レタス、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、エンドウ、ホウレン草、シュンギク、アスパラガス、タマネギ、ネギ、コマツナ、大豆、果樹、等々の作物に使えます。
- ※ 稲、ジャガイモ、茶、ブルーベリー、栗などの酸性を好むものには、カルテックCaをお勧めします。
- ※ 肥料は作物に合わせて施肥してください。(当資材にはチツソ、リン酸、カリはほとんど含まれておりません)

【ご注文は】

株式会社 カルテック

本社 兵庫県篠山市郡家 87-10  
TEL(079)554-2212 FAX(079)554-2213  
ホームページ <http://www.caltec.org>

# カルテック 畑のカルシウム<sup>(R)</sup>

[10kg詰め]

【内容】																																
原材料と内容	炭酸カルシウム(石灰)鉱物を微粉砕し、米麦由来の酵母・乳酸菌等の醗酵液(飲食品製造に用いられるのと同類のもの)に、極少量ずつ十分に長時間をかけて反応させ、沈積・熟成した製品です。無理な加熱や化学反応をさせず、製造・調整過程での経験と工夫により、醗酵有機イオン化した滋養カルシウムの補給資材となっています。(肥料登録:兵庫第1533号、他)。																															
成分分析例	<p>主成分…<b>醗酵有機カルシウム</b> 約70% (CaO換算:約35%)                      醗酵有機は 糖類・有機酸類・核酸類・補酵素類等の化合物の複合物です。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">                     (主成分の醗酵カルシウム以外の不純物の含有量はごくわずかです。チツソはゼロです。)                 </td> <td>リン酸</td> <td>P<sub>2</sub>O<sub>5</sub></td> <td>0.4%</td> <td>鉄</td> <td>Fe</td> <td>0.26%</td> </tr> <tr> <td>カリウム</td> <td>K<sub>2</sub>O</td> <td>0.2%</td> <td>マンガン</td> <td>Mn</td> <td>0.03%</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸</td> <td>SiO<sub>2</sub></td> <td>1.3%</td> <td>銅</td> <td>Cu</td> <td>0.01%</td> </tr> <tr> <td>ホウ素</td> <td>B</td> <td>0.04%</td> <td>モリブデン</td> <td>Mo</td> <td>0.01%</td> </tr> <tr> <td>亜鉛</td> <td>Zn</td> <td>0.02%</td> <td>ナトリウム</td> <td>Na</td> <td>0.04%</td> </tr> </table>	(主成分の醗酵カルシウム以外の不純物の含有量はごくわずかです。チツソはゼロです。)	リン酸	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.4%	鉄	Fe	0.26%	カリウム	K <sub>2</sub> O	0.2%	マンガン	Mn	0.03%	ケイ酸	SiO <sub>2</sub>	1.3%	銅	Cu	0.01%	ホウ素	B	0.04%	モリブデン	Mo	0.01%	亜鉛	Zn	0.02%	ナトリウム	Na	0.04%
(主成分の醗酵カルシウム以外の不純物の含有量はごくわずかです。チツソはゼロです。)	リン酸		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.4%	鉄	Fe	0.26%																									
	カリウム		K <sub>2</sub> O	0.2%	マンガン	Mn	0.03%																									
	ケイ酸		SiO <sub>2</sub>	1.3%	銅	Cu	0.01%																									
	ホウ素		B	0.04%	モリブデン	Mo	0.01%																									
	亜鉛	Zn	0.02%	ナトリウム	Na	0.04%																										
特長と機能	<p>①<b>水溶性</b>……もともと「石灰」(炭酸石灰等)はほとんど水に溶けない(0.015g/リットル)のに対して、200倍(前後)の溶解度(約2.9g/リットル)があり確実に水に溶けて、土壤溶液のカルシウム濃度を適度に高く維持し、作物にカルシウム栄養を供給します。</p> <p>②<b>弱アルカリ性</b>…原体pH:約8.0(弱アルカリ性)です。一般の「石灰」(pH:9以上の強アルカリ性)のように土壤微生物を死滅させることがなく、団粒構造化を促し膨軟な土を作ります。</p> <p>【土壤pHを0.5引上げるのに必要な10アール当り施用量の目安】</p> <table border="1"> <tr> <td>火山灰土</td> <td>100kg</td> <td>壤質土・粘質土</td> <td>60kg</td> <td>砂質土</td> <td>40kg</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通常、1作分の酸性化(土壤pHの低下)幅:0.5程度は、上記の量で中和できますから他の石灰などアルカリ資材は不要となります。</li> <li>● 通常の畑地では、投入量200kg以内であれば、pH:7.0以上とはなりません。</li> </ul> <p>③<b>作物への速効的なカルシウム栄養補給</b>                      カルシウムはあらゆる植物の多量・必須栄養素です。特に野菜・花卉・果樹はチツソより多量のカルシウムが必要で、これにより、健康な生育・病気に強い・色ツヤが鮮やか・腐れない・美味しい、という高品質が実現します。作物が速効的・直接的に吸収・活用できるのは、生体内で有機イオン化した『醗酵態』のカルシウムです。〈畑のカルシウム〉は、この『醗酵カルシウム』なのです。</p>	火山灰土	100kg	壤質土・粘質土	60kg	砂質土	40kg																									
火山灰土	100kg	壤質土・粘質土	60kg	砂質土	40kg																											

## 【野菜・花卉への使い方】

(本畑の施用量は10アール当り)

時期	施用量	目的
育苗期	予め、培土に3%~5%混和。 または1鉢10g(~20g)置き肥。	苗を太く、強く、元気にします。凋れず、病気を寄せ付けず、発根力の旺盛な苗作りは栽培の基本です。
【カルシウムの元肥】 土作り時~作付け時	<b>60kg</b> (40~80kg)	初期からガツンリと健康な生育となります。 (2ヵ月程度で収穫する作物なら、カルシウムはこれだけ)
【カルシウムの追肥】 生育の途中	<b>20kg</b> (10~60kg)	生育中盤から月1回施用で、ひきしめ・健全化。 (特に開花の20日前、収穫の40日前は効果的)

## 【果樹への使い方】

時期	施用量	目的
秋・元肥時(秋~冬)	各期それぞれ <b>30kg</b> (~60kg) [年間合計 120kgほど]	カルシウムで健康な土と樹体の基礎作り。
春肥時(開花20日前)		花を強く咲かせ、果実の品質を向上させる。
玉肥時(梅雨期)		根と葉の疲れ・果実の腐敗を防ぐ。来春の花にも。
収穫40日前		果実の着色・増糖・成熟を促進。秋枝の充実も。

### ● 施用の時期は何時でも可能です。何と一緒にでも使えます。

散布すれば降水で浸透しますが、土に混ぜ込むのがより効果的です。

【注意】(アルカリ性資材ですので、酸性資材・肥料と直接混合して、水分を与え、長時間おくと、硫酸の場合は、アンモニア・ガスを発生させます。硫酸や、チツソ肥料類と同日に施用する場合は、時間をおかず散布し土に混ざるように施してください。)

- チツソ等の肥料を施用する時期に、畑のカルシウムも施用するのが 確実です。  
(硫安の場合は目安として同量以上の畑のカルシウム)
- 多肥の場合・極端な酸性土壌の場合は 施用量を多めに。少肥の場合は 施用量を少なめにして下さい。
- 特別に、土を酸性にすべき作物 [ジャガイモ, 茶, 栗, ブルーベリー]には、カルテックCa粒状を お勧めします。

PR0083-7(170123)